

beyond2020プログラム 認証事業一覧 (平成29年4月28日)

事業名	団体名	期間	場所	概要
高岡御車山祭	高岡市	2017/5/1	富山県 高岡市	<p>高岡御車山は加賀藩祖前田利家が豊臣秀吉より拝領し、二代当主前田利長が慶長14年（1609年）に高岡城を築くにあたり町民に与えられたのが始まりと伝えられている。</p> <p>高岡關野神社の祭礼日に神輿と共に曳廻されてより以来、今日に至るまで高岡の発展とともに継承。高岡市民の心意気と財力に支えられ、格式も高く、日本でも屈指の華やかな山車であり、「日本遺産」の構成文化財であるほか、「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産の登録を受けている。</p> <p>このたび、高岡市では中国語・英語・韓国語に対応した紹介パンフレットを発行しており、行事としての保存・継承を重んじ国際化に向け取組んでいる。</p>
第37回 山の都ふれ あいコンサート	アドブレー ン・共立・ NTT-F共同事 業体	2017/11/19	山梨県 甲府市	<p>『山の都ふれあいコンサート』は、1981年の「国際障害者年」をきっかけとして生まれた。当初は、障害をもつた方々から寄せられた詩に曲を募集し、コンサートの場で発表することをベースに行われてきたが、その後は、詩の募集対象を一般に拡大し、障害の有無に関係なく、幅広い年齢層の方々から応募をいただくようになった。</p> <p>現在は、当コンサートに加え、「創作ミュージカル」や「一行詩の朗読劇」といった表現方法を取り入れたり、聴覚障害を乗り越えて活躍しているバンド「シャンテ」やつながりあそびうたを全国に広め、楽しい活動を続けている「若竹ミュージカル」などの外部団体を招き、そのエネルギーを吸収しながら、ともにコンサートを作り上げる。なお、公演本番は、手話者舞台に立ち、客席に向かって手話により伝える。</p>
夏の観能のタベ	石川県（いし かわの能楽鑑 賞事業実行委 員会）	2017/7/1 ～ 2017/8/26	石川県 金沢市	<p>石川県において、藩政期から育まれてきた能楽文化の振興のため、県立能楽堂において、「夏の観能のタベ」を開催し、低廉な価格で能・狂言を鑑賞する機会を広く提供し、能楽愛好者の増加を図っている。</p> <p>さらに、今年度より新たに、一般公演の上演前に能楽体験を実施することとしている。車椅子を使用する障害者も参加できるよう、会場にはスペースを確保するなど、障害者にとってのバリアを取り除く取組みも実施。</p>
いしかわの工芸の巨匠 に聞く	石川県（兼六 園周辺文化の 森活性化推進 実行委員会）	2017/5/3 ～ 2017/8/31	石川県 金沢市	<p>石川県の伝統工芸の魅力に触れてもらうため、人間国宝をはじめとした各分野の巨匠に、これまでの歩みや仕事にかける思い、後継者育成等について語ってもらうリレー講演会を実施。</p> <p>この講演会では、車椅子を使用する障害者も参加できるよう、会場にスペースを確保するなど、障害者にとってのバリアを取り除く取組みも実施。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
第14回 ユネスコ記念能	公益社団法人能楽協会	2017/10/6	東京都 渋谷区	<p>能楽は650年余の間、時代時代の役者によって守られ磨かれ、平成13年ユネスコにおいて、第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受けた。</p> <p>当協会では、この貴重な人類の財産を後世に伝え、日本文化への理解を一層深めてもらうことを目的に本公演を開催。</p> <p>今回は、女流能楽師によるシテ方五流立合公演を企画。解説や謡の文句が分かるよう日英字幕システムも活用し、能楽の奥深さに触れられる「異流競演、女流競演」の舞台。</p>
ミュージカル「K I N J I R O !～本当は面白 い二宮金次郎～」	山形県	2017/9/3	山形県 山形市	<p>日本の偉人二宮金次郎の評伝劇をミュージカル化した演劇公演。脚本家として演劇、映画、テレビドラマ、新作落語の執筆など幅広く活躍している鈴木聰氏が作・作詞・演出を務め、秋田県に拠点を持ち、日本の民俗芸能を基盤とした演目を多く上演する劇団「わらび座」が公演する。</p> <p>日本の偉人を題材に、日本の民俗芸能を取り入れた、日本ならではのミュージカルを行うことで、日本の優れた演劇文化を発信する。</p> <p>なお、会場となるシベールアリーナには、身体障害者専用駐車場、身体障害者専用トイレ、車いす対応の座席などが完備。</p>
工藤直子＆新沢としひ こ講演会＆コンサート	山形県	2017/9/10	山形県 山形市	<p>世界的詩人であり童話作家の工藤直子氏の詩の朗読にあわせ、シンガーソングライターの新沢としひこ氏が楽器を演奏したり歌を歌うコラボレーションコンサート。工藤直子氏は、その詩が教科書に掲載されるなど、日本を代表する詩人であり、優れた童話も多数執筆している。その詩を新沢氏の音楽に載せて発信することで、日本の言葉の素晴らしさを発信する。</p> <p>なお、会場となるシベールアリーナには、身体障害者専用駐車場、身体障害者専用トイレ、車いす対応の座席などが完備。</p>
日本の現代アートがこ こにある！ 高橋コレ クション・マインドフ ルネス 2017	山形県	2017/7/22 ～ 2017/8/27	山形県 山形市	<p>山形県ゆかりの精神科医・高橋龍太郎氏が収集した現代アートのコレクションによる展覧会。1980年代から2000年代の日本を代表する作家たち（草間彌生、奈良美智など）の作品約80点を通し、日本現代アートの多様な展開を概観するとともに、さまざまな楽しみ方を紹介、日本文化を発信。</p> <p>実施に際しては、ホームページや配布物に英語での解説を併記し、外国人も楽しめるものとする。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
重松清講演会	山形県	2017/9/9	山形県 山形市	<p>「とんび」や「流星ワゴン」など、日本の家族を題材とした温かい作品で有名で直木賞を受賞した日本を代表する作家である重松氏の講演会を実施することで、日常にあふれる生活文化や、日本文学の素晴らしさを発信。</p> <p>なお、会場となるシベールアリーナには、身体障害者専用駐車場、身体障害者専用トイレ、車いす対応の座席などが完備。</p>
特集展示 京都水族館連携企画「京博すいぞくかん—どんなおさかないのかな？」	京都国立博物館	2017/7/25 ～ 2017/9/3	京都府 京都市	<p>2017年は、日本の法令上「国宝」の語が初めて使用された「古社寺保存法」制定より120年になる。</p> <p>当館開館と軌を一にするこの節目の年に、実に41年ぶりとなる「国宝展」を開催。</p> <p>本展覧会では、歴史と美を兼ね備えた国宝約200件を一堂に会し、わが国の悠久の歴史と美の精華を顕彰いたします。</p> <p>なお、バリアフリー化されている平成知新館において開催することで、より多くの人に楽しんでいただける。</p> <p>また、音声ガイドや作品名称等を英語・中国語・韓国語の3言語にも対応することにより、海外の方にもより展覧会を楽しんでいただける。</p>
京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会「国宝」	京都国立博物館	2017/10/3 ～ 2017/11/26	京都府 京都市	<p>2017年は、日本の法令上「国宝」の語が初めて使用された「古社寺保存法」制定より120年になる。</p> <p>当館開館と軌を一にするこの節目の年に、実に41年ぶりとなる「国宝展」を開催。</p> <p>本展覧会では、歴史と美を兼ね備えた国宝約200件を一堂に会し、わが国の悠久の歴史と美の精華を顕彰。</p> <p>なお、バリアフリー化されている平成知新館において開催することで、より多くの人に楽しんでいただける。</p> <p>また、音声ガイドや作品名称等を英語・中国語・韓国語の3言語にも対応することにより、海外の方にもより展覧会を楽しんでいただける。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
「玉すだれ博覧会～日本人の知らないニッポンの芸能～」	一般社団法人大江戸玉すだれ	2017/5/15	東京都墨田区	<p>♪さては南京玉すだれ…の口上でおなじみのため、中国のものと勘違いされている「玉すだれ」は、実は歴とした日本の芸能であり、老若男女、車椅子の方でも簡単にできる稀有な伝統芸。</p> <p>海外で演じると「シンプルで美しい。リズミカルで美しい」と喜んでいただけるのに、日本人自身がこの芸能を知らないのは残念である。</p> <p>そこで今回、全国からプロアマ問わず200名を超える愛好者が集結。伝統的な一曲から、現代に合わせた新演出まで、6時間に渡って玉すだれを P R。</p> <p>インバウンド向けの英語バージョンも、座ったまま、車椅子でも出来る「ラジオ体操玉すだれ」も、さらには実際に体験のワークショップも開催。同じ道具で誰もが楽しめる“日本一敷居の低い伝統芸”を楽しんでいただける。</p>
県民の日記念イベント	栃木県	2017/6/17	栃木県宇都宮市	<p>平成29年3月に策定した「とちぎ版文化プログラム」のリーディングプロジェクト事業の一環として、県民の日記念イベントとの同時開催によりユネスコ無形文化遺産登録の「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」のお囃子の実演のほか、県庁周辺において県内主要屋台による県民参加型の屋台引き回しパレードを行い「祭り」をテーマに栃木の文化の魅力を発信。</p> <p>式典会場となる県議会議事堂内には障がい者用観覧スペースを用意するほか、外来駐車場に障がい者専用スペースを確保する。</p>
装×奏 キモノとクラシックの饗宴	装×奏 キモノとクラシックの饗宴	2017/9/18	大阪府大阪市	<p>「着物を音楽を、もっと身边に、より日常に。そしてこれから可能性を提案したい」をコンセプトに、和装着装士と演奏家によって構成されるコラボステージ。</p> <p>和装着装士は全員が国家資格を持ち、演奏家はソロ活動の他、オーケストラやアウトリーチなど多方面で活躍。またそれに関わる芸術として、貴重な日本古来の優良蚕種、純国産絹糸「松岡姫」で作られた着物やプロダンサーの協力を得る。</p> <p>開催場所として、国立文楽劇場は日頃から伝統芸能の保存と振興を図る場所でもあり、会場はバリアフリー設備が整っている他、外国語対応スタッフがいる為、障害者にとっても外国人にとっても足を運び易い環境。</p> <p>現在、当日配布予定のプログラム冊子には外国語表記を取り入れるよう作成を進めている。日本の美しい着物と音楽が融合した新しいステージを提供。</p>